

大阪 PCB 廃棄物処理事業だより (No.45)

◎PCB 廃棄物の処理状況について

操業開始（平成18年10月）から平成28年3月31日までの処理実績は下表のとおりです。

処理状況 対象物	処理実績（※登録台数比率）	
	近畿2府4県【総数】	大阪市【内数】
トランス類	2,402台（75%）	1,138台（88%）
コンデンサ類	59,303台（81%）	12,177台（90%）
PCB油類	1,195本（66%）	487本（90%）

※登録台数は平成28年3月31日現在の数値。

◎国が定めた「PCB 廃棄物処理基本計画（平成26年6月改訂）」に基づく地域間移動の状況について

<車載トランス（新幹線車両に搭載されていたトランス）>

○当社の豊田事業処理対象区域に多量に保管されている車載トランスは、構造が複雑なため、溶剤洗浄法により PCB の分離回収処理を行っている豊田 PCB 処理事業所では処理に手間がかかるものです。このため、一昨年に改訂された国の「PCB 廃棄物処理基本計画」に基づき、大阪 PCB 処理事業所においても真空加熱分離法により処理することになっています。

○大阪 PCB 処理事業所では、昨年4月から処理を開始し、平成27年度には計10台を処理しました。



<特殊コンデンサ（電氣的にショートしたことにより素子と呼ばれる内部の部材が炭化しているコンデンサ）>

○豊田事業処理対象区域等に保管されている特殊コンデンサは、豊田 PCB 処理事業所の溶剤洗浄法では PCB の分離回収が困難なため、大阪 PCB 処理事業所の真空加熱分離法により処理を行うことになっています。

○大阪 PCB 処理事業所では、本年2月から受け入れを開始し、平成27年度には計44台を処理しました。



<PP コンデンサ（内部の素子に紙に代わってポリプロピレン（PP）が使われているコンデンサ）>

○一方、大阪事業処理対象区域に保管されている PP コンデンサについては、大阪 PCB 処理事業所の真空加熱分離法で加熱することにより PCB が蒸発する前に素子に使われているポリプロピレンが膨張し、真空加熱分離装置の中でコンデンサが破裂するため事前の措置が必要なことから処理に手間を要するため、豊田 PCB 処理事業所の溶剤洗浄法により処理することになっています。

○大阪事業処理対象区域で保管されている PP コンデンサは、豊田 PCB 処理事業所において本年1月から受け入れを開始し、平成27年度には約1,000台を受け入れました。

◎大阪 PCB 廃棄物処理事業監視部会の開催について

3月3日、此花会館において大阪 PCB 廃棄物処理事業監視部会（主催：近畿ブロック産業廃棄物処理対策推進協議会〈構成：近畿2府4県14政令市〉）が開催されました。

当社から「大阪 PCB 廃棄物処理事業の進捗」についてご説明を行い、有識者の方々から、手間がかかるコンデンサ等の処理やHHK（ヒヤリハット・気がかり）について貴重なご意見、アドバイスをいただきました。

また大阪市から「環境モニタリング調査」の結果について特に問題ないことが報告されました。環境省からは「PCB 廃棄物の期限内処理の早期達成に向けた追加的方策」について、JESCO における PCB 廃棄物の処理や未処理の PCB 廃棄物掘り出し調査等の推進などの説明がありました。



監視部会の様子

◎周辺環境モニタリング調査及び排出源モニタリング調査の結果について

項目(単位)	PCB ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		ダイオキシン類 ($\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$)	
環境基準値等	0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$		0.6 $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	
場所	敷地内	周辺	敷地内	周辺
春	0.00045	0.00052	0.025	0.022
夏	0.00046	0.00041	0.014	0.012
秋	0.00047	0.00035	0.030	0.025
冬	0.00018	0.00015	0.041	0.051



事業所敷地内での測定の様子
(風向・風速計とエアサンプラー)

当事業所では、施設周辺（事業所敷地内と周辺（南側）の2箇所）で大気中の PCB、ダイオキシン類の濃度を年4回測定しています。平成27年度の測定結果はいずれも環境基準値等を下回っていました。

また、平成27年6月に実施した施設からの排気、排水中の PCB、ダイオキシン類等のモニタリング調査でも、全ての場所における測定結果が自主管理目標値等を下回っていました。

なお、以上の測定値は全て外部の計量証明事業所による分析結果です。

◎施設見学の状況について

当施設への見学者は、操業開始以降、平成28年3月31日現在で10,082名（1,324団体）となっています。平成28年1月から3月の見学者数は、以下の皆様をはじめ計30名（9団体）でした。

- 1月 7日 PCB 廃棄物の処理を研究する企業の集まりの皆様（7名）
- 2月18日 PCB の処理に関心を持っておられる企業の皆様（6名）

☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

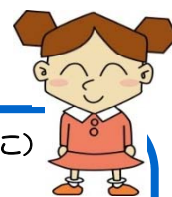
当社のホームページをご参照下さい。また、予約見学時は総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・西棟1階情報公開ルーム（月～金曜日の午前10時から午後4時まで）
- ・予約見学・西棟1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日（午前10時から・午後2時から）

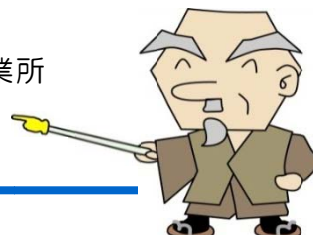
【問い合わせ】 中間貯蔵・環境安全事業（株）大阪 PCB 処理事業所
TEL：06-6468-0575
ホームページ：<http://www.jesconet.co.jp>



洲男（しまお）



舞子（まいこ）



べん蔵（べんぞう）



【発行】 中間貯蔵・環境安全事業（株） 大阪 PCB 処理事業所
総務課／安全対策課／運転管理課 06-6468-0575
営業課（弁天事務所） 06-6575-5575